

平成 26 年 8 月 吉日

お客様及び関係各位

株式会社 山喜農園
新潟県魚沼市原 1280-1
TEL. 025-794-2455
FAX. 025-794-4168

E-mail: info@yamaki-noen.co.jp

HP Address: http://www.yamaki-noen.co.jp

球根情勢報告

資料送付のご案内

(関係者に送付しています。ご希望があればお問い合わせください。)

平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

1) オランダの気象推移

降雨量

5月と7月の雨が多かった様です。

原因は「昨年の養成球根定植時の土壌条件」と言われていますが、チューリップ / アイリスの作況は予想より悪かった様です。

早い段階から東オランダの百合生産圃場の不調は伝えられていましたが、7月の雨の影響で南オランダでも不調な畑が出てきた様です。

一方、「日照時間」「気温の推移」に極めて順調にみえます。

「力の有る球根」が出来れば良いなあと思います。

2) オランダ産百合栽培面積表 8月5日付第2版

7月中旬に第1回の栽培面積表が発行されておりましたが、(当社ホームページに載せてあります)

「精度が低い」との事でしたので、「印刷、送付」を控えました。

今回発行分の「精度」は依然不明ですが、「1回目よりは改善している」との事なので、配布致します。

受ける印象は「想定外の面積増加」だという事です。

OTの増加は折り込み済みですが、O.H系、LA系の増加は「意外」な結果だった様です。

当初「作況は良くなりそうだが面積は減る」というのが一般的な「考え方」でしたが、最近の見解は「面積は増加したが、作況は？」となっている様です。

昨年13年産百合球根は一般論で20%~25%不作と言われていましたので、標準作+10%面積増加とおけば、収量は随分増える様な気がしますが・・・。

花色ごとに面積の動きを管理しています。国際市場を理解する為にはものすごく重要なのです。

3) 新潟県内、3カ所で行われている抑制百合試験栽培

7月上旬~8月下旬/9月上旬にかけて新潟県内、3カ所で抑制百合試験栽培が実行されます。

同一品種、同一コンディションの球根を3カ所の違う気象条件、違う作型にて栽培試験が行われる予定です。3カ所とも、それぞれの地域において同一土壌条件、同一管理を行いますので「違い」の確認がとれるはずですし、それぞれの作型毎での品種毎のパフォーマンスもかわってくるでしょう。

ぜひ、御自身の目でご確認ください。(3カ所全て確認すれば、品種やコンディション毎の特徴は相当高い精度で確認できると思います。)

※各々の試験区の間い合わせ先がリストに書いてあります。よろしくご確認ください。

4) 森山 隆 スケジュール表

魚沼市/当社試験温室にて実施される「抑制百合試験栽培の開花の目安となる日」を「オープンデー」という形でのせておきました。

温室は開放してありますのでいつでもお越しください。事前にご連絡頂ければ、ご案内致します。(ぜひ皆様の意見を聞かせてほしい。)

5) 輸入切花類 輸入数量と輸入価格の推移

1988年より統計管理が行われています。

12年/13年では切花輸入本数が減少しています。税関ベースでの輸入額は伸びていますが、イコール販売額が伸びているかどうかは、この資料からは読み取れません。

今や輸入切花が一部の個人消費市場においては「ベースを作っている」と考えられます。

ベースの切花流通本数が減れば、国産切花流通には必ずしもプラスの影響だけではなさそうです。

トータルの花弁産業の減少につながらなければ良いが・・・。

昔とは随分考える角度を変えなければいけなくなりましたね・・・。

6) 39 協力市場様による百合切花市場流通状況について

つい最近完成したばかりの速報値です。

したがって分析作業を進めておりません。

間違ったコメントが許されない分野だと思いますので、ちょっと時間を下さい。後日あらためて・・・。

やはり「1月～3月」「4月～6月」の動きは昨年と逆でしたね！

「1月～6月」「7月～12月」

「P12月～5月」「6月～11月」

「T12月～5月」「6月～11月」

区切り方でまったく違った傾向も見えてきます。

市場の皆様や球根業者の方々にはしっかりと分析を深めて頂きたいです。

ぜひ皆様の意見をお聞かせください。

ご不明な点等ございましたら、担当までお問い合わせください。よろしくお願いたします。

森山 隆